

## ■終わらない仕組み■

ほぼ週刊【松村拓也のメールマガジン】第 149 号

こんにちは、松村拓也です。

E-Mail と Facebook で松村拓也の活動についてほぼ毎週お届けしています。

名刺交換した方や、突然思い出した方にもお届けしますので、ご迷惑であればお知らせください。

できれば勤務先でなく、個人のアドレスにお届けしたいので、ご連絡ください。

ご意見、ご質問大歓迎です。

.....

## 149 目次

1. ブログから：終わらない仕組み
2. 今週のお知らせ：「チャレンジ・アシスト・プログラム」合同報告会
3. まつむら塾のご案内
4. 今週の予定
5. アクセスポイント：問い合わせ先
6. このメルマガについて

バックナンバーはこちら

<http://nanoni.co.jp/magazine/>

.....

1. ブログから：終わらない仕組み

3 月 10 日、パクチーハウス東京とパックスコワーキングがクローズすると聞き、僕も明日、最後にビールを飲みに行ってみようと思っている。「今後は無店舗展開で、新たなプロジェクトを立ち上げる」との佐谷君の言葉通り、今後がますます楽しみだ。始めがあれば終わりがある。倒産で覚醒した僕としては、決して終わりを嘆く気にはなれない。だが、「終わりのないこと」もまた、大切なことだ。僕たちのチャレンジには終わりなど無いし、世界の終わりなど観たくない。終わることができずに先延ばしするのは良くないが、終わりたくないのなら終わらないことに挑むべきだと僕は思う。笑恵館はまさに「終わりたくないプロジェクト」だ。終わることなく、やり続けるためにどうすればいいのか…という課題に僕は一発でのめり込んだ。

笑恵館の継続を阻むものとしては、下記の候補が考えられる。

- ① 財政の行き詰まり
- ② 組織の行き詰まり
- ③ 施設の老朽化
- ④ 相続税の負担

これらを解決するために初めに思い付いたのは、笑恵館の法人化だ。併設するアパート収入を財源に①を克服し、地域の交流施設として事業化することで②を克服し、非営利事業として④を克服し、将来公益法人になることで④を克服しようとした。だが、この方法では「笑恵館だけ」に留まった場合は仕組みの規模が小さくて、永続性を担保できるとは言い難い。もっと広がりのある仕組みにして多様な人材や土地資源を確保しないと、「永続する仕組み」には程遠い。

そこで僕は、もう一度原点に戻り、「永続する仕組みとは何か」を考えることにした。すると、すぐに頭に浮かんだ答えが「国」という概念だ。それは、「国」がどういう仕組みで出来ているかを考えるのではなく、「国こそが永続すべき仕組み」ということだ。つまり僕が挑みたかったのは初めから「国づくり」であり、「永続する仕組

み」に興味を感じたのはそれが「国」を意味していたからだと思ふ。僕が国に惹かれる理由は「自立・自由・自己責任」だと、これまでも度々話してきたが、それらがもたらすものこそが「永続性＝終わらないこと」ではないかと、僕は気が付いた。

こうなると、これまで公益法人や NPO などに挑みながらどこか抵抗感というか、違和感を感じていた理由が分かった気がする。それらは、公的な許認可に基づく仕組みであり、所詮日本国内で通用するローカルルールに過ぎない。僕が今回求めているのは、もっと普遍性のある自由な仕組みだ。許可を求めて申請手続きを踏むようなアプローチでなく、自分の身を律すれば、自由に何でもできるやり方だ。そう考えると、実は今、僕たちが取り組んでいる事業形態が、まさにそのやり方だと気が付いた。それは「非営利型の一般社団法人が税法上の“持分の定めのない法人”に該当すれば、贈与税は課税されない。」という取り扱いだ。誰のものでもないモノに税金はかけられない。個人所有を放棄して、みんなのモノとして活用すれば、それは「国土」に等しい。「土地をみんなが所有する仕組み」は、個人の土地を「終わりのない国」に変えていく。

こんな話を引っ提げて、僕は月曜日に公認会計士の O 君を訪問する。僕の解釈に大きな間違いが無ければ、彼も仲間に引き込んで、「土地や建物を換金せず、そのまま資源として活かし続けたい」と願う人たちを募る活動を開始したい。今日の話は「はしょり過ぎ」で、あなたには意味不明だったかもしれないが、今の活動が「国づくり」とつながった喜びを、今どうしても書き留めておきたかった。「終わらない仕組み」とは単なる夢にすぎず、実際は「終わらないために変化し続ける仕組み」なのかもしれない。だが、はっきりしているのは「終わりたくない」という思いだ。日本が終わらないように、僕は「小さな日本」をつくり始める。

興味のある人、質問大歓迎です。

<http://nanoni.co.jp/20180303/>

.....

## 2. 今週のお知らせ：「チャレンジ・アシスト・プログラム」合同報告会

主催者からのご案内をそのまま転記しちゃいます。

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、チャレンジ・アシスト・プログラム事業におきましては、助成金を受けた各グループの活動も順調に実施されております。

つきましては、平成 29 年度「チャレンジ・アシスト・プログラム」合同報告会を下記の通り開催いたします。ご多忙とは存じますが、ご出席賜りますようご案内申し上げます。

記

日時 平成 30 年 3 月 11 日（日）14：00～16：30

場所 B u m B 東京スポーツ文化館 2F 研修ルーム B

内容 ・助成グループによる活動報告（各グループ持ち時間 15 分の報告）  
・質疑応答（各グループ 15 分程度）

- 1 アクアマルシェ
- 2 WELgee (ウエルジー)
- 3 88 生まれの女たち
- 4 Itobanashi (イトバナシ) 服育プロジェクト

尚、合同報告会終了後（16：45～17：30）、助成グループ間の情報交換の場として交流会を予定しております。交流会にも是非ご出席賜りますようお願い申し上げます。

一緒に行きたい人、このメールに返信してください。

.....

### 3. まつむら塾のご案内

#### ■レギュラー講座

1名から参加できる、定例開催セミナー

料金 1コマ：3,000円(一人当たり)

人数 1名より開催

日時 毎週土曜日 ①10-11時、②11-12時、③15-16時、④16-17時、⑤19-20時、⑥20-21時

会場 笑恵館 東京都世田谷区砧 6-27-19

予約制：このメールに返信、またはタイムチケットで

<https://www.timeticket.jp/items/39813>

#### ■グループ講座

松村がお好きな時間と場所にお邪魔する、グループで開催する、臨時セミナー

料金 1コマ：15,000円+交通費(総額)

人数 10名まで

日時 随時調整します。

会場 笑恵館 もしくはご自分で会場をご用意ください。

#### ■オンライン講座

遠隔地でも参加できる、webやメールのやり取りで学ぶ質疑応答形式

料金 1,000円/月(閲覧のみは無料です)

日時 随時

場所 自習室 <http://nanoni.co.jp/juku/>

.....

### 4. 今後の予定：今週・来週以降

凡例 ○面談歓迎：来て下さればあなたの面談を優先。

◎呼出歓迎：あなたのお誘いを優先、訪問可能。

●同行可能：僕の訪問先にお連れします。

★参加可能：あなたも参加可能なイベント。

.....

- (月) 3/05 ○作業日 午後から青葉台で面談可
- (火) 3/06 ○作業日
- (水) 3/07 ○作業日 午後から青葉台で面談可
- (木) 3/08 ○作業日 終日笑恵館で面談可
  - 15-17 時 ★日本土地資源協会 経営会議
  - 17-19 時 ★笑恵館クラブ 運営会議
- (金) 3/09 ○作業日 午後から笑恵館で面談可
  - 14-16 時 ★砧むら昔話カフェ (おおがいさんち)
  - 19-21 時 ★カプラー起業交流会 (三茶)
- (土) 3/10 ○作業日 夕方まで笑恵館で面談可
  - 10-17 時 ★まつむら塾 (笑恵館・予約制)
- (日) 3/11 ○作業日 午後から新木場で面談可
  - 14-17 時 ★チャレンジアシストプログラム合同報告会

#### ■その後のイベント

- 3/13-14 ★御宿グッドネイバーズ・起業相談会
- 3/15 ★笑恵館なるほどデイ 無料説明会、年次総会、食事会
- 3/17 ★まつむら塾 (笑恵館・予約制)
- 3/22 ★笑恵館クラブ運営会議
- 3/25 ★名栗の森オーナーシップクラブ例会
- 4/13 ★カプラー起業交流会 (三茶)

相談のある人、一杯やりたい人、歓迎です。

松村の予定はこちらで公開しています。 <http://nanoni.co.jp/schedule>

.....

#### 5. アクセスポイント：問い合わせ先

松村拓也

メール [takuya@nanoni.co.jp](mailto:takuya@nanoni.co.jp)

携 帯 090-9830-3669 [taku8823@ezweb.ne.jp](mailto:taku8823@ezweb.ne.jp)

自 宅 株式会社 なのに(平社員)

〒226-0016 神奈川県横浜市緑区霧が丘 3-15-1

<http://nanoni.co.jp/>

職 場 一般社団法人 日本土地資源協会(代表理事)

<http://land-resource.org/>

笑恵館 〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-27-19

<http://shokeikan.com/>

メール配信をご希望の方はこちら

<http://land-resource.us10.list-manage.com/subscribe...>

フェイスブックグループはこちら

<https://www.facebook.com/groups/atamanonaka/>